

平成 28 年度 第 2 回夕張市地域公共交通協議会 議事概要

日 時：平成 28 年 9 月 8 日（木）13:30～14:10

場 所：夕張市役所 4 階 会議室

資 料：別紙のとおり

1 開 会

2 挨拶

会長より挨拶

3 JR 夕張支線の経過について

(1) 市長の経過説明要旨

- ・夕張支線は、明治 25 年の開通以来、公共交通として重要な役割を果たしてきた。しかし、トンネルや橋りょうの土木構造物が約 100 年経過しており、更新等の抜本的対策に億単位の費用が必要であり、利用者数も大幅に減少し、運行するだけで年間 1.8 億円の赤字が発生している。
- ・7 月 29 日、JR 北海道から「単独では維持することが困難な線区に対する考え方を秋口までに示す」と発表がされたことを受け、夕張支線は土木構造物の状況や利用者数等から単独では維持することが困難な線区に指定されることは避けられないと判断した。
それならば、1 日でも早くバス等で持続可能な交通のあり方を検討し、市民の足を守ることが重要であり、市が現在検討している拠点複合施設内に交通結節点を計画していることや財政再生 10 年の節目で財政再生計画の見直しをしている等のタイミングを鑑みて秋口の公表を待たずに先に申し入れを行うこととした。
- ・8 月 8 日、JR 北海道本社を訪問し、支線が将来にわたって維持することが困難である以上、ピンチをチャンスに変えて、効率的で持続可能な交通体系を構築したいこと、仮に鉄道事業の廃止という選択をするのであれば、「市が進める施策への協力」「JR 北海道が保有する施設等の扱い」「JR 北海道社員の市への派遣」への協力を要請した。
- ・8 月 17 日、JR 北海道島田社長が夕張市を訪れ、要請した 3 点への協力方針が示され、これを前提に正式に夕張支線の鉄道事業廃止の申し入れがあった。
- ・今後は補てん型の公共交通から地域が育てる利用型の公共交通へ転換を図り、様々な政策と連携をとりながら効率的で持続可能な交通体系の構築を目指して、協議会や分科会での議論を積み重ねていき、市民の足をしっかりと守っていきたい。

(2) JR北海道の経過説明要旨

- ・平成24年4月に本協議会が設置された時から協議会に参加をし、夕張支線の現状などについて、種々の説明を行ってきた。
- ・市長の提案は、将来の地域の持続性に思いを馳せた重い提案であったと受け止めており、各々の地域に合った交通体系を相談したいという社の考え方と合致するものなので、8月9日に臨時取締役会を急遽開催した。
- ・8月17日、社長が夕張市を訪問し、提案に全面的に協力し、要請についても基本的に協力することで考えており、これらを前提として夕張支線の鉄道事業廃止を正式に申し入れた。
- ・持続可能な交通体系を作り、次の世代に繋げていくため、皆様の理解をお願いしたい。

経過説明に関する質問等なし

4 報告事項

(1) 夕張市コンパクトシティ構想交通分科会の構成員について（資料1）

- ・事務局より資料1の説明
- ・内容に関する質問等なし

5 協議事項

(1) 交通体系再編基本方針（案）について（資料2）

- ・事務局より資料2の説明
- ・内容に関する質問等なし
- ・議案どおり承認

(2) 自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の申請について（資料3、3-1～2）

- ・事務局より資料3、3-1～2の説明
- ・スクールバスに高校生は含まれているのかとの質問に対し、事務局より現状運行しているスクールバスは小中のみで運行しており、その代替であるので高校生は含まれないが、高校生のニーズがあるようであれば、交通体系再編基本方針の1に小中高としたように高校生の利用も可能になるよう考えていかなければならないと回答。
- ・今回は下校便変更の話であるが、登校便の変更の話は出ているのかの質問に対し、事務局より登校便として運行しているスクールバスは、運行会社がバス会社からタクシー会社に変更にはなるが、同時間で運行するため、登校便に変更はないと回答。
- ・議案どおり承認

6 その他

- ・ J R 北海道より一連の台風による被害状況と札幌～帯広、釧路間の当面の運行についての情報提供があった。
- ・ 委員より J R 夕張支線の廃線の時期や廃線協議についての質問があり、 J R 北海道より時期や廃線協議は夕張市や分科会で今後協議して、正式に決まったらお知らせすると回答。
- ・ 委員より分科会はいつ開催されるのかとの質問に対し、事務局より本日の協議会終了後に第 1 回分科会を開催し、その後は必要な都度、開催していくと回答。
- ・ 事務局より本日開催の第 1 回分科会の案内と分科会委員の出席をお願いした。

7 閉会

以上